



メディアアラート

2018年12月5日

AWS、AWS Outposts を発表

急成長するVMware Cloud on AWS サービスをAWS Outposts 上で稼働するVMware Cloud on AWS Outposts、およびネイティブAWS API を使用して、オンプレミスでコンピューとストレージを稼働するAWS Outposts

(シアトル発、2018年11月28日発表) [Amazon.com, Inc.](https://www.amazon.com) (NASDAQ:AMZN) の関連会社である Amazon Web Services, Inc. (AWS) は本日、AWS re:Invent にて、AWS が設計したハードウェアとともに開発された、フルマネージド型のコンフィギュレーション可能なコンピューとおよびストレージラックである AWS Outposts を発表しました。AWS Outposts により、コンピューとストレージをオンプレミスで稼働できるようになる一方で、AWS のその他の広範なクラウドサービスとシームレスに接続することができます。

AWS は過去数年にわたり、Amazon Virtual Private Cloud (Amazon VPC) や AWS Direct Connect、Amazon Storage Gateway といったサービスを提供することで、AWS と一緒に自社のオンプレミスデータセンターを稼働したいお客様のニーズに応えてきました。2017年、AWS は VMware と共同で、VMware Cloud on AWS を発表し、VMware 上で自社のシステムを仮想化している多くの企業に、長年使用してきたオンプレミスの VMware ツールを使用して、AWS 上のインフラストラクチャを管理できる機能を提供しました。しかし、小さな遅延でも大きな影響を受けるアプリケーションを扱うサービスや、オンプレミスサイトの近くにアプリケーションを置く必要があるサービスなど、数年間は一定のワークロードをオンプレミスに残しておきたい企業も存在します。これらのお客様は、AWS のコンピューとストレージをオンプレミスで稼働する一方で、オンプレミスのワークロードを AWS クラウド上のその他のアプリケーションとシームレスに統合したいと考えています。早い段階でこのことを試みた他のベンダーは、オンプレミスとクラウドの両環境で同じ API やツール、ハードウェア、機能を利用できるサービスを提供できず、真に一貫性のあるハイブリッド体験をお客様に提供することができませんでした。

AWS Outposts は、Amazon Elastic Compute Cloud (Amazon EC2) や Amazon Elastic Block Store (Amazon EBS) といったサービスを、AWS が設計した、コンピューとストレージのラックからなるインフラストラクチャで稼働できるようにすることで、これらの課題を解決します。AWS Outposts には、現時点で、2つのオプションがあります。

- これまで VMware 製品を利用中で、その VMware コントロールプレーンと API を自社のインフラストラクチャで引き続き使用したいお客様は、VMware Cloud on AWS を AWS Outposts 上でローカルに稼働することができます。このオプションは、VMware Cloud on AWS Outposts と呼ばれ、AWS Outposts を使用することで、コンピュー、ストレージ、ネットワークからなる VMware SDDC (Software-Defined Data Center) をオンプレミス環境で稼働し、VMware Cloud on AWS と同じコンソールから、サービスとして管理できるようになります。これにより、これまで使用してきた AWS サービスを容易に管理、統合できます。
- これまで AWS クラウドを採用し、その API とコントロールプレーンを引き続き、ただしオンプレミス環境で使用したいお客様は、AWS Outposts の AWS ネイティブなオプションを使用することができます。ネイティブ AWS Outposts とともに、その他のソフトウェアも稼働でき、NSX (AWS Outposts とローカルのデータセンターネットワークをブリッジできるネットワーク機能) や VMware AppDefense (既知の良質なアプリケーションを保護する機能)、VMware vRealize Automation (ワークロードをプロビジョニングする機能) のような高い評価を得ている VMware の技術やサービスを VMware と Amazon EC2 の両環境で稼働できる VMware Cloud Foundation for EC2 と呼ばれる新しい統合製品などを使用できます。

どちらのオプションも、AWS はお客様にラックを提供し、お客様のご要望があれば設置し、ラックのメンテナンスや交換も全て引き受けます。これらの AWS Outposts は、お客様に最も近い AWS リージョンにあるお客様の Amazon VPC を拡張するもので、AWS クラウド上にある、すでに使用している他のアプリケーションやその他の AWS サービスと AWS Outposts はシームレスに連携します。

AWS の最高経営責任者(CEO)のアンディー・ジャシー(Andy Jassy)は「お客様からは、すでに成長の止まったクラウドのオンプレミス版を再構築するようなハイブリッド体験などいらないという意見をいただいています。なぜなら、そのようなサービスは、クラウド版と永久に同期することなく、多くの複雑な作業や、カスタムハードウェアや異なるコントロールプレーン、ツールの管理、手動でのソフトウェアアップデートが必要になるからです。そのようなオンプレミス製品からは多くの価値を得ることはできないため、お客様からの引き合いは見込めません。そのため、当社のお客様の求めている声に耳を傾けることから始め、そこから開発を進めました。お客様が求めているのは、すでに使用している AWS または VMware Cloud on AWS をオンプレミスに拡張し、ハードウェアやソフトウェアを管理することなく、AWS が使用しているのと同じハードウェア、インターフェース、API、そして最新の AWS 機能に提供開始とともにすぐさま接続できる環境を使用できることでした。このような理由から、当社はハイブリッドモードを稼働時にお客様が真に求めているものは何なのかを考え直し、その結果、AWS Outposts を開発しました」と述べています。

VMware 最高経営責任者(CEO)のパット・ゲルシンガー(Pat Gelsinger)氏は「VMware Cloud on AWS は、最高のプライベートクラウドと最高のパブリッククラウドを AWS クラウド上で組み合わせることで、データセンターとクラウドの間に立ちふさがる障壁を取り除きました。本日、AWS との戦略的パートナーシップを拡大することで、ハイブリッドクラウド環境を拡張し、アジリティ(俊敏性)、シンプルティ(簡潔さ)、セキュリティ、十分なインフラストラクチャインターオペラビリティ(相互運用性)を得たい相互のお客様に、より多くの選択肢を提供することになります。当社の新しい製品である VMware Cloud on AWS Outposts と VMware Cloud Foundation for EC2 は、データセンターから、クラウド、エッジに至るまで一貫したインフラストラクチャと運用を提供するという当社のビジョンをさらに拡張するものです」と述べています。

AWS Outposts は現在、プレビュー版が提供されており、2019 年下半期に一般向けに提供予定です。詳細に関しては、以下の URL を参照ください。

<https://aws.amazon.com/outposts>

アマゾン ウェブ サービスについて

アマゾン ウェブ サービス(AWS)は 12 年の間に、世界で最も包括的かつ幅広く採用されたクラウドプラットフォームになっています。AWS は、米国、オーストラリア、ブラジル、カナダ、中国、フランス、ドイツ、インド、アイルランド、日本、韓国、シンガポールおよび英国の 19 の AWS リージョン、1 つのローカルリージョンと 57 のアベイラビリティゾーン(AZ)で、コンピューティング、ストレージ、データベース、ネットワーク、アナリティクス、マシンラーニング、人工知能(AI)、モノのインターネット(IoT)、モバイル、セキュリティ、ハイブリッド、仮想現実および拡張現実(VR/AR)、メディア、アプリケーションディベロップメント、デプロイメントおよびマネージメントに関する 125 種類以上の十分な機能を有するサービスを提供しています。AWS のサービスは、アジリティを高めながら同時にコストを削減できるインフラエンジンとして、急速に成長しているスタートアップや大手企業、および有数の政府機関を含む数百万以上のアクティブなお客様から信頼を獲得しています。AWS の詳細については以下の URL をご参照ください。 <https://aws.amazon.com/>

Amazon.com について

Amazon は 4 つの理念を指針としています。競合他社ではなくお客様を起点にすること、創造への情熱、優れた運営へのこだわり、そして長期的な発想です。カスタマーレビュー、1-Click 注文、パーソナライズされたおすすめ商品機能、Amazon プライム、フルフィルメント by Amazon(FBA)、アマゾン ウェブ サービス(AWS)、Kindle ダイレクト・パブリッシング、Kindle、Fire タブレット、Fire TV、Amazon Echo、Alexa などは、Amazon が先駆けて提供している商品やサービスです。

VMware、VMware Cloud、Cloud Foundation、NSX、AppDefense、vRealize、vRealize Automation は VMware, Inc. または同社の米国およびその他の地域の支社の登録商標または商標です。

報道関係からのお問い合わせ先
アマゾン ウェブ サービス ジャパン株式会社
広報担当 河村
Email: awsjp-pr@amazon.com

####